

2回連続発生は偶然とは言わない

5月・9月と連続して発生した
過給機からの発煙に対し

キハ85-110

徹底した原因究明と対策を求める！

名古屋地本は11月24日、今年9月に高山線において発生した24D列車発煙事故について、「申第5号 高山線・24D床下からの発煙について」の業務委員会を行いました。今回、発煙事故を起こしたこの車両は、今年の5月にも同じく高山線で発煙が発生しており、連続して発生したこの事故について会社に対して徹底した原因究明と対策を求めてきました。

**この車両の営業運行を
直ちに止めること！！**

今回の事故に対して会社は、「過給機内部の不具合が発端である事は（5月の事故）と共通しているが、関連性は調査中」だとして、過給機の温度監視、定期検査確認、潤滑油の更油周期の見直し、鉄道総研への依頼などの再発防止策を講じているとした上で、緊急点検は予定していないと回答しました。

しかし地本は、『連続して発生した発煙事故の重大性に鑑み、そしてこの間、日夜にわたり奮闘している車両検修に携わる社員の苦労の為にも、一旦この車両を営業運行から外し、徹底的に調査、原因究明、再発防止対策を行うべきだ』と主張してきました。

社員と乗客の命を守るために！！